



「小出→魚沼」インターチェンジ名称変更を検討 市内事業者のみなさんに聞いてみました

問 企画政策課 ☎792・1425

響の森公園をもっと派手に活用すべき。野外ライブ、お祭り、ドッグラン、キャンプ、売店など頻繁にすればインターにも近い人が集まると思う。

魚沼市をPRするために実施したほうがいいと思うイベントや企画は？

名称変更が経済効果につながるのではなく、名称変更に合わせて動きが経済効果につながるものと考えている。市の動きで協力できるものは一緒に取り組み、魚沼を活性化させたい。

魚沼は自然が良くて、水や、米が美味しいというイメージが国内外にあるようだ。そのイメージをもっと確実なものにするため、自然の良さをPRすることが必要。

インターチェンジ付近でうまいものを市を開催して魚沼市の美味しいものやいいところをPRする。

温泉もたくさんあるので、温泉施設の紹介イベントを行いたい。

季節ごとのイベントが色々あるが、他県や市外に向けて発信出来ているのか少し疑問がある。SNSで魚沼を検索しても、得られる情報が少ないように感じる。

インターチェンジの名称変更により、多くの人が魚沼市を訪れることが期待されています。7月10日号で市内中学3年生と新成人に聞いた市のPRポイント等をご紹介しましたが、今回は市内の事業者の皆さんに魚沼市をPRするイベント等について聞いてみましたので、その一部をご紹介します。

今回いただいたご意見は、市の観光施策や市政施行20周年記念事業等に活かせるように検討します。



図 消防本部 ☎793・0119

全国消防救助技術大会 「ロープブリッジ救出」で6位

本市消防本部の隊員4人（須田光、瀬下隆太、井口祐真、渡邊悠）が、ロープブリッジ救出種目で新潟県消防救助技術大会を二位、東北地区消防救助技術指導会を一位で通過し、札幌市で行われた全国消防救助技術大会に出場しました。

会場は、全国大会特有の雰囲気でしたが、日ごろの訓練の成果を発揮し、6位に入賞しました。

全国消防救助技術大会は、救助技術の基本的要素を訓練することで、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うことを目的として行われています。

須田隊員



日々の訓練、大会をとおして自分の心・技・体を高めるために何が必要か多くの気づきを得ることができました。この経験をプラスに成長していきたいと思っています。

瀬下隊員



全国大会出場を目標に日々訓練に力を入れてきました。大会が終わったので、この経験を日ごろの出動や訓練に活かしたいと思います。